

5-1 大学入試と男女差別 男女平等について考える

※赤字は解答例や生徒の記述例

目標：憲法で法の下での平等が保障されているが、現実に存在する男女間の格差はなぜあるのか？

Q0 日本のジェンダギャップの現状を予想する。

127 / 146カ国

【1】大学教育と男女平等

Q1 女子の割合が低い学部はどこだろうか？

工学 理学 医学 農学 薬学（看護学） 人文科学 社会科学 教育 家政

Q2 大学入試の「女子枠」は、平等か？公正か？正義か？

平等ではないが、女子を増やす目的は理解できるので、正義だと思う。

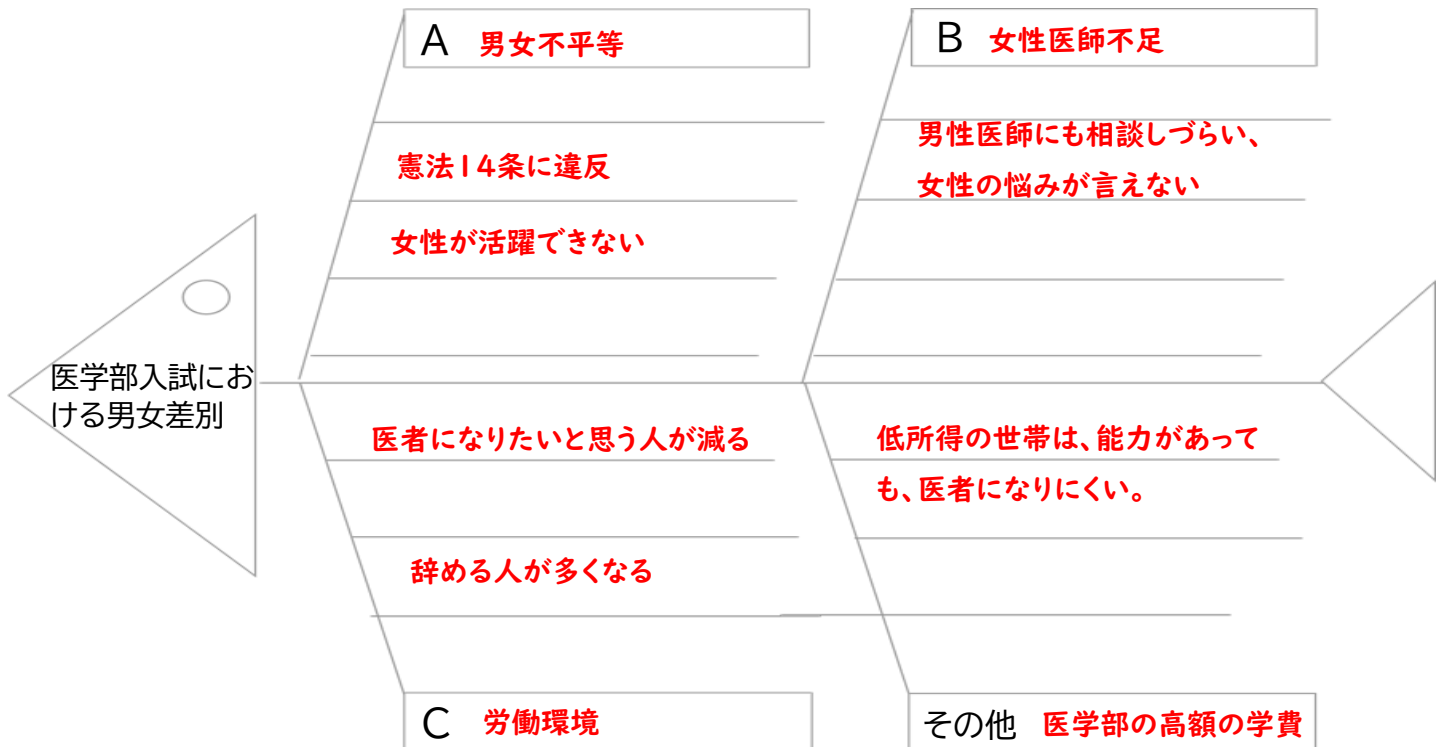
KEYWORD

男女共同社会参画法

積極的差別是正措置（アファーマティブ・アクション）

【2】医学部入試における男女差別問題を考える

Q3 「医学部入試における男女差別問題」の原因を考察し、“フィッシュボーン図”でまとめよう。



Q4 本日の授業で、新たに気付いたことや、疑問に思ったことを書こう。

- ・男女平等を実現する上でも、働く女性が働きやすい社会（保育所や学童等の問題）をもっとつくるのが大切なのではないかな。
- ・高校の理系選択をする女子が少ないことこそ、女性の医師不足の問題ではないかな。

公共の基本原理 単元振り返りシート 年 組 番 氏名

「一人ひとりがよりよい民主主義の担い手になるためには」

学習前 選挙に参加する 世の中の出来事に関心をもつ			
	日付	今日の授業で一番重要だったこと	疑問や感想など
1	月 日	ホブズ・ロック・ルソーの違い	直接民主制と間接民主制の違いをもっと知りたい。
2	月 日	憲法改正	憲法改正の具体的な内容(どの点が改正されるのか?)
3	月 日	現代では、生存権などの社会権が重視されている。	憲法の中で、権利がぶつかり合ってしまった場合は、どうすればよいのか。
4	月 日	医療の現場の男女不平等の解消に向けてさまざまな課題がある。	医学部に入るための費用を削減してほしいと思った。
5	月 日	女性医師の割合が、全体として20%と、OECDの加盟国と比べると低い。	男女平等を実現するには、課題がたくさんある。
6	月 日	公共の福祉は、お互いの人権の衝突を調整するために、相互の人権を制限する。	公共の福祉の言葉の意味を深く理解することができてよかった。
学習後 選挙にただ参加するのではなく、「自分がどういう社会になってほしいのか」「どの政治家が国民に寄り添って政治をしてくれるのか」をよく考えて、投票する			

君は、何か変わったかな？

学習前・中・後を振り返ってみて、何がわかりましたか？また、今回の単元を通してあなたは何がどのように変わりましたか？そのことについてあなたはどのように思いますか？感想でもかまいませんので自由に書いてください。

私は、学習前は、選挙に行くことしか民主主義の担い手としてできることはないと思っていたけど、現代の課題や問題を知ることによって、できることはたくさんあるということがわかりました。自分で、理想とする社会を考え、情報を集める大人になりたいです。